

第25回 全国街路事業 コンクール応募資料

平成25年1月

応募者名：富士市建設部街路整備課

事業の名称：岳南広域都市計画道路 本市場大淵線
(青葉町工区)電線共同溝整備事業

実施都市名：富士市

事業目的

当路線は新東名高速道路のアクセス道路として新富士ICと市街地を結ぶ重要な幹線道路であると同時に、避難場所と緊急物資集積所を結ぶ緊急輸送路に指定され、防災面でも重要な位置付けとなっています。

また、正面には富士山を望む眺望の良さから、都市景観の向上が求められていることもあり、良好な都市景観の創出、都市防災機能の向上、そして安全で快適な通行空間の確保を目的として整備したものです。

事業概要

事業名称: 岳南広域都市計画道路 本市場大淵線
(青葉町工区)電線共同溝整備事業

路線名: 3・3・19 本市場大淵線

事業箇所: 富士市青葉町、米之宮町地内

事業延長: 587m

幅員: 23m

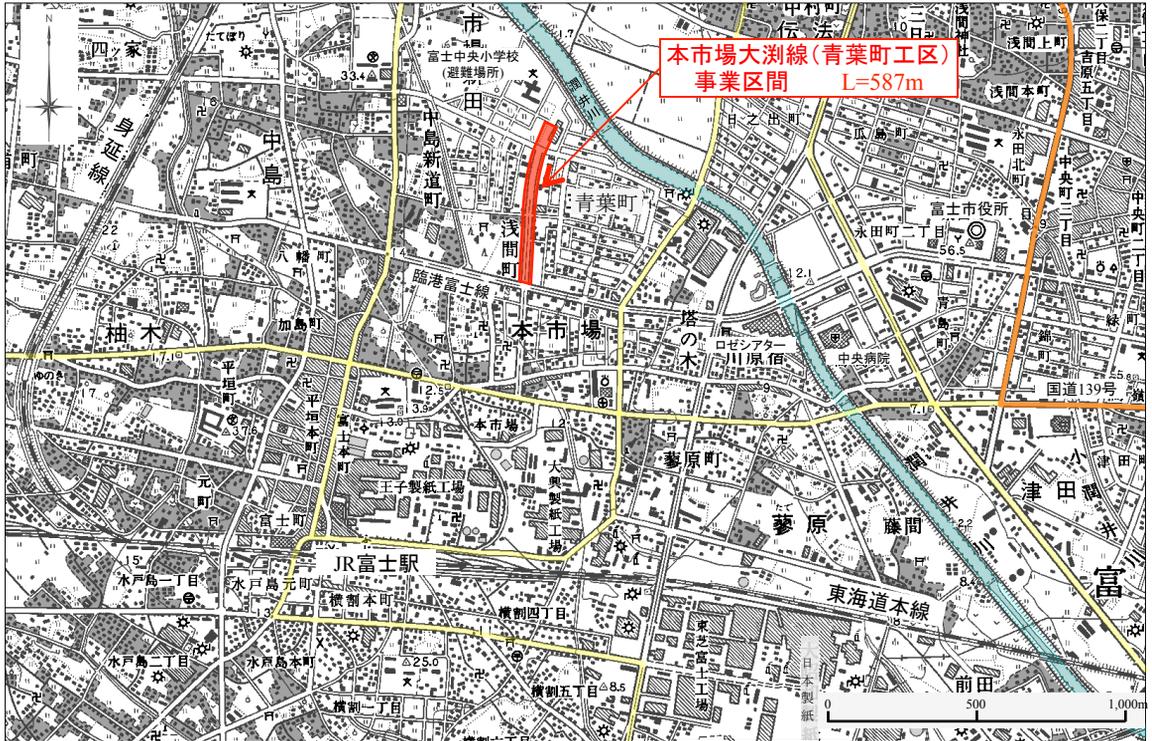
事業費: 約2億4千万円

事業実施期間: 平成17年7月～平成24年3月

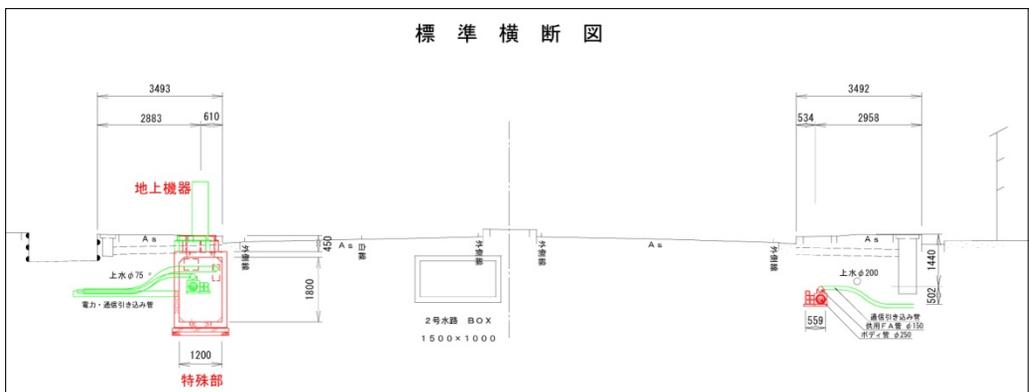
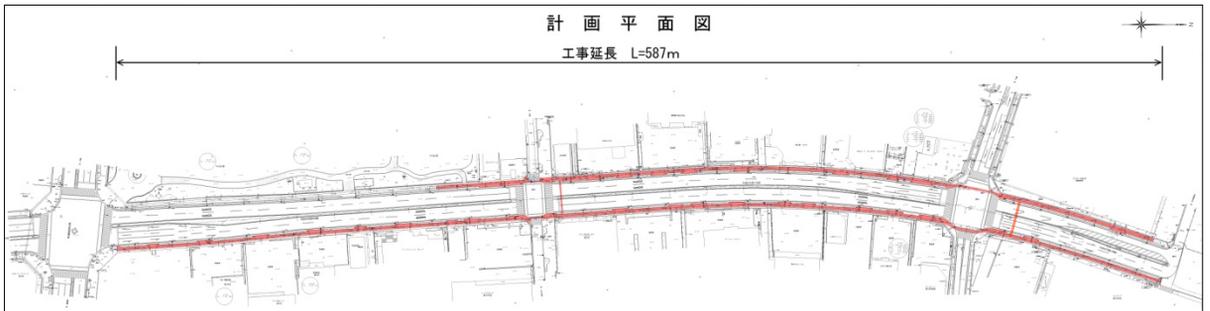
本事業は、都市計画道路 本市場大淵線においてC・C・BOXによる電線類の地中化を行ったものです。併せて、歩道を透水性舗装で復旧することにより、雨水の流出抑制を図りました。

また、他の地下埋設物と干渉しないよう配慮しながらも、既存の道路施設を極力維持することで、コストの縮減を図りました。

事業位置図



全体図(平面図・側面図・横断面図)



本市場大淵線の整備効果アピール資料

事業概要

事業名	岳南広域都市計画道路 本市場大淵線 (青葉町工区)電線共同溝整備事業
路線名	3・3・19 本市場大淵線
事業箇所	富士市青葉町、米之宮町地内
事業延長	587m
幅員	23m
総事業費	約2億4千万円
事業期間	平成17年7月～平成24年3月



平成23年



平成25年



電線共同溝

整備効果・事業効果

良好な都市景観の創出

電柱や電線類が撤去され、正面に富士山を望む美しい都市景観が形成されました。

都市防災機能の向上

緊急輸送路における災害時の電柱倒壊や電線類の切断といった被害を軽減でき、耐震性の高いライフラインを実現しました。

安全で快適な通行空間の確保

道路の見通しが良くなり、信号機や道路標識が見やすくなったため、交通の安全性が大きく向上しました。

事業前写真

①

(電柱撤去前)平成23年6月撮影



北側交差点 富士山正面

②

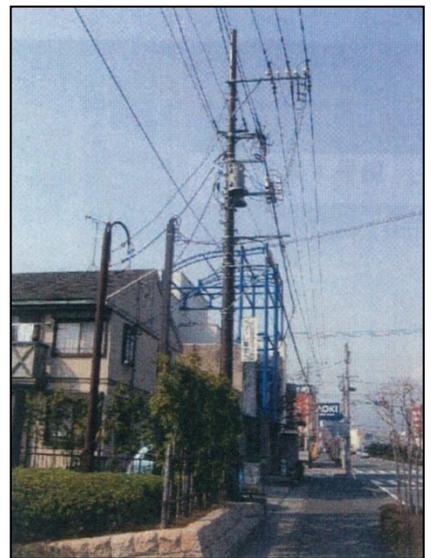
(電柱撤去前)平成23年6月撮影



中央交差点

③

平成17年1月撮影



沿道架空線

事業後写真

①

平成25年1月撮影



北側交差点 富士山正面

②

平成25年1月撮影



中央交差点

③

平成25年1月撮影



沿道架空線(撤去)